

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商店街空き店舗有効活用事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	創業者及び創業予定者並びに空き店舗を抱える商店会	意図	商店街の活性化と新規開業を促進する。
事業内容	本市産業の振興と市内商店会の活性化を図るため商業団体が行う商店街空き店舗有効活用事業及び商業活性化アドバイザー派遣事業の一部に対して補助を行い、にぎわいを創出する。			
事業開始から現在までの状況変化	産業競争力強化法の施行により、平成26年10月31日付けで流山市は創業支援事業計画の認定を総務大臣・経済産業大臣より受けた。これを受け年2件の新規補助に努める。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		補助対象者	0	0	1	件	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	空き店舗有効活用事業により女性のためのサテライトオフィスが開設され、女性の雇用創出に繋がっている。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度に認定を受けた創業支援事業計画に基づき創業スクールを開催するなどし、27年度は21名、28年度は31名の方が受講された。また、空き店舗等に係る窓口相談も18件を数え、新規創業・起業に関する高まりは依然高いものとなっている。引き続き、商工会議所との連携や情報の共有、他の支援団体である、千葉県信用保証協会、(株)日本政策金融公庫、市内金融機関などとの連携を進め、市内空き店舗の有効活用を図る。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		69,100	1,506,000	3,132,000			
事業費(b)(円)				1,759,000			
うち一般財源				1,759,000			
職員給与費(c)(円)		69,100	1,506,000	1,373,000			
人役・職員(人)		0.01	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	創業者及び創業予定者の輩出	取組の課題	空き店舗情報の把握。
今年度(H28)に実施した取組	流山商工会議所と連携し、事前協議の段階より経営指導を義務付け、持続的な経営が行えるよう助言・指導に努めた。	今後の改善計画	開業後おけるサポートや経営指導に努める。